

調査・研修等計画届出書

令和7年11月4日

瀬戸市議会議長 様

議員名 黒柳 知世

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和7年11月11日から11月12日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会	
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2丁目2-1）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	11月11日（火）14:00 から 国土交通省 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道155号）の進捗状況について 厚生労働省 15:00 から ・公立病院の全国的な経営状況について ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について 11月12日（水）10:30 から 文部科学省 ・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察。	
議長名の依頼	不要	依頼先（名称）
同行者名	・小澤 勝・三木 雪実・富田 宗一・宮藺 伸仁 ・高島 淳・朝井 賢次・山内 精一郎	

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 7 年 12 月 8 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 黒柳 知世

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 7 年 11 月 11 日から 11 月 12 日まで（1 泊 2 日）
調査先・研修名	本市行政課題について、所管各省へのヒアリング及び勉強会
会場名（会場所在地）	衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町 2 丁目 2－1）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	11 月 11 日（火） 14：00 国土交通省 ・国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道 155 号）の進捗状況について 11 月 11 日（火） 15：00 厚生労働省 ・公立病院の全国的な経営状況について ・公立病院経営について、今後の国の考え方及び方針について 11 月 12 日（水） 10：30 文部科学省 ・学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について（単独施設更新や給食センター方式での更新など）後に国会図書館への視察。

1, 国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道 155 号）

旧祖母懐小学校跡地の宅地開発やにじの丘学区の住宅需要の高まりにより、国道 155 号の交通量は増加する見込みである。子どもたちが、にじの丘学園へ通う通学路の安全確保は、本市の重要な課題である。

《用地買収》

道路整備においては、「地区全体で考える」という総論と、「個別具体的な事情」を把握する必要がある。

「事業を立ち上げて進まない」という停滞を避けるため、用地買収を「行政対個人」の交渉に留めず、地域の未来への投資として再構築するための具体的な戦略が必要である。事業が長期間になる理由は、用地買収の難航がほとんどであり、長期化することにより、住民の疲弊と地域の不信感も招くことにつながる。

《地元との合同点検の実施》

国直轄事業であっても、住民に最も近い「市」が主導し、国（事業主体）と地元住民が実際に歩道を歩く「合同点検」を実施することで、危険性を共有し、合意形成を図る事は事業を円滑にすすめるために必要な事である。

2, 公立病院の全国的な経営状況および今後の国の考え方、方針について

《公立病院が抱える赤字の背景》

公立病院が赤字になる原因は、「不採算部門」を担う公的役割があるため。民間では収益確保が難しい救急医療、小児・周産期医療、精神科救急など引き受けている。また、多くの公立病院職員は地方公務員であり、人事院勧告に準じた賃上げが適用される。人件費は病院経営の中で大きく割合を占めており、民間病院のように、業績に連動した柔軟な給与設定が難しく、コスト増がダイレクトに経営を圧迫する。

《公立陶生病院の現状》

公立陶生病院は、病床稼働率 84%、年間 8,000 件を受入れている。急性期病院の中で 84%という数字は極めて高い水準であり、地域の最後の砦として機能している証でもある。期中での診療改定は実施されないため、6月の改定までは補助金でつなぐ。

3, 学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について
学校給食施設の整備において、単独調理方式かセンター方式かの選択は、自治体の財政状況、地理的条件、食育方針によるため、国がどちらかを推進することはない。

どちらにおいても整備をするために必要な交付金について、新增築では1/2、改築では、1/3を基本算定としている。

給食センターを利活用し、長期休みにおいて学童への給食提供など実施している市もあることから、今後センターにする場合には様々な活用も視野にする事の一つの方法である。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

1, 国直轄事業としての都市計画道路及び記念橋上之山線（国道 155 号）

道路整備だけではなく、「どのような街並みを次世代に残したいか」を住民で議論し、地区全体で事業の必要性を共有することが必要である。

また、個別の事情については、地権者に寄り添い、代替地のあっせんや、地域のつながりが希薄にならないような具体的な「出口戦略」を提案することが不可欠であると考ええる。

通学路安全性の担保については、道路整備だけでは解決できない部分も出てくる事や、整備が完成するまでの期間、ソフト面での対策を実施することが必要である。

2, 公立病院の全国的な経営状況および今後の国の考え方、方針について

経営の効率化と不採算医療（救急・小児・周産期など）の維持を同時にこなす必要がある。公立病院の赤字を改善させない限り、一般財源からの繰り入れが増大していくばかりであるため、効率化や機械化は実施しないといけない事は明白ではある。しかし、一方で地域住民の安心のため、一般財源から補填し守るべき医療があることも事実である。どちらにしても、持続可能な形にアップデートする時期に来ており、国の診療報酬改定にも期待をするところであると考ええる。

3, 学校給食調理施設更新についての国の現在の補助及び今後の動向について

本市では、既存の単独調理室で衛生管理基準をクリアしようとする、面積が物理的に不足するケースがほとんどである。センター化することで、衛生水準の向上やアレルギーに対応する調理場を確保することが可能になり、子どもたちの安全な給食を守るための選択となる。また、食材の調達を一括で行う事で、スケールメリットを活かす事ができ、献立の充実にもつながると考える。

一方で、単独調理方式で得られていた利点をどう維持するかという点も必要な視点であると考ええる。本市独自の栄養教諭の加配を継続させる事や調理から喫食ま

での時間を極力短くするため、配送車の台数やスペック、配送ルート等を工夫し、単独調理方式で得られていた利点をセンター化となっても担保することが必要である。

センター化は、財政的なメリットが強調されやすいが、子どもにとって何が最善かを考え、心身の成長に欠かせない給食の在り方を妥協することなく、政策決定する必要があると考える。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
7 年 11 月 11 日	瀬戸市	愛環	片道	高蔵寺	6.2	km	330	円		円
	高蔵寺	JR	片道	名古屋	24	km	6,600	円		円
	名古屋	新幹線	片道	東京	366	km		円	4,920	円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	アパホテル小伝馬町駅前				0570-042-411		15,396 円			
備考欄										

27,246 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金	等
7 年 11 月 12 日	東京	新幹線	片道	名古屋	366	km	6,600	円	4,920	円
	名古屋	JR	片道	高蔵寺	24	km		円		円
	高蔵寺	愛環	片道	瀬戸市	6.2	km	330	円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

小計 11,850 円

日付	出発駅	交通手段	片道／往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

バック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

15,396 円

23,700 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

39,096 円